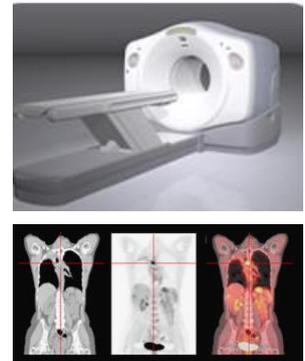


■■■ FDG-PET検査をお受けになる患者さんへ ■■■

1. FDG-PET検査について・・・ ■■■

1. PET検査では、ブドウ糖に似た放射性の薬（FDG）を注射し、その代謝・分布を撮像します。RI検査と似ていますが、薬から放出される放射線の種類が通常のRI検査薬とは少し異なり、専用のカメラ（PET-CT）を使います。
2. 身体の細胞はブドウ糖をエネルギーとして消費します。活発に働く脳や心臓にはこの薬もよく集まり、また腫瘍などは正常な細胞に比べ数倍も多く取り込まれます。
3. この性質を利用し腫瘍や臓器の状態を診るのがPET検査です。当院にもPET-CT装置が設置され、CTを組み合わせることで病気の場所や形を精度よく検査することができます。



2. 検査にあたっての注意 ■■■

- 検査前の運動に関して・・・
運動によって、薬が筋肉などへ集まり易くなり、検査の妨げになります。
過度の運動（テニス・野球・ランニング等）は前日からお控えください。
来院の際も自転車などの使用は控え、冬季は頸部など肌の露出も出来るだけ避けてください。
- 飲食に関して・・・
薬を効率よく体内に行き渡らせるため、血糖のコントロールが必要です。
検査予定の6時間前より絶食をお願いします。
- 水分は飲んでかまいませんが、糖分の入っていない水またはお茶を飲んでください。（検査前に糖分の入った食品および飲料水を飲食すると、注射する薬の効果が無くなり検査ができなくなります。）
ガムなどは控えてください。（血糖値 200mg/dl 以上は検査出来ない場合があります。）
- 注射後、撮影に余分な薬を排泄させ、患者さん本人の被ばくを低くするために、糖分の入っていない水またはお茶を飲んで頂きますので、500mlほど検査当日にご持参ください。
- 糖尿病のある方など・・・
薬の服用、インシュリン等、主治医に血糖値のコントロールをご相談ください。
その他、現在服用中の薬のある方は主治医にご相談ください。
- 妊娠中またはその可能性のある方は、原則としてこの検査は出来ませんので、主治医にご相談ください。
- 薬の投与から撮像までは安静が必要となります。
鎮静や介助を要する方の検査はご遠慮いただく場合があります。
- 同一月内にガリウムシンチを受けられた場合、保険適用になりません。
- お会計は検査前に済ませていただき、検査を終えられましたら、そのままお帰りください。

3. 検査薬について ■■■

- 検査用の薬は非常に高価なもので、使用しなくても時間と共に放射線の量が減っていき使用できなくなります。薬は、お一人様ずつ検査時間に合わせて注文されます。

- 以上のことから、時間には余裕を持ってご来院ください。また、予約変更をご希望の場合は検査前日の正午までにご連絡ください。これ以降のキャンセルは**薬代(約 50,000 円)**の請求が発生する場合があります。

4. FDG-PET検査終了後は・・・？ ■■

- 検査終了後も、約24時間程度は微量のガンマ線が体内より放出されます。周囲への被ばくを避けるためにも次の点に注意してください。
 1. 同一日に他科の受診や検査は行わないようお願いします。
 2. 検査後12時間は、なるべく人ごみなどへの外出は控え、特に乳幼児・妊婦さんへの緊密な接触は避けるようお願いします。
 3. 授乳されている方は注射投与から24時間の授乳をお控えください。授乳される場合は24時間後に一度搾乳したものを捨ててからの授乳をお勧めします。

***検査全体に要する時間は2時間ほどかかります。**

5. 検査費用の概算 ■■

- 保険適応の場合
 - 自己負担額3割・・・約30,000円
 - 自己負担額1割・・・約10,000円
- 保険適応外(自費診療)の場合
 - 約100,000円